

『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3 の質的分析 —徳性の視点から—

加藤知子
神野真寿美

0. はじめに

TOEIC®テストはビジネスシーンを扱った英語素材が多用されており、企業等で社員に受験を課すことの多い英語試験である¹。これまで語彙や文法の視点からTOEIC®テストを分析したものは多く、関連書籍も出版されている²。しかしながら、ビジネスの場面における経営倫理の重要性を鑑みる時、徳性の視点からも同テストが妥当であるのか検証する必要があるのではないだろうか。

本稿では、TOEIC®テスト受験者が参照する可能性が高いと思われる『TOEIC®テスト新公式問題集』に着目し、同問題集 Volume1 から Volume4 までの Part3 を分析対象としながら、徳性という視点から見た場合どのような場面がそこに描かれているかをあぶり出すことを目標とする。

『TOEIC®テスト新公式問題集』は2011年9月現在 Volume4 まで出版されており、各 Volume には2テストが含まれている。各テストは7つの Part から構成されている。Part2 と Part5 は素材が短く、文脈が見えにくい。Part1 は写真を使用した問題であるので、<文書>としては取り扱うことができず、他の視点が必要となってくる³。<文書>でありかつある程度文脈が把握しやすいのは会話素材の Part3、モノローグ素材の Part 4、長文使用の文法・語彙問題の Part 6、長文読解用素材の Part 7 であるが、研究ノート頁数の制約から今回は各 Volume の Part 3 の問題に使用されている英語素材に絞って分析することとした。分析対象数は設問の英語素材（ダイアログ）を単位とすれば合計 80 となる⁴。

Volume 毎ではなく Part 毎に分析するのは、ダイアログ・モノローグ・電子メール・広告等、雑多な素材が含まれている Volume を単位とするより、同種の

素材を扱っている Part を Volume 横断的に分析したほうがパターンが見えやすいと判断したからである。

分析の手法としては佐藤郁哉『質的データ分析法 原理・方法・実践』を手掛かりに、文書セグメントを最小限の意味の単位とする質的データ分析を採用する。定性コードはトーマス・リコーナ『「人格教育」のすべて』pp.322・325にある本質的な徳を利用する。徳同士は既にリコーナによってグループ分けされており、より抽象度の高い概念カテゴリーも記されている。

本稿第一章では『「人格教育」のすべて』に示された徳を紹介しつつ、質的データ分析手順の概略を示す。第二章では『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3の素材分析の結果を詳述する。第三章では第二章の分析結果を踏まえ、今後の研究の方向性を示し本稿の結語としたい。

1. トーマス・リコーナ『「人格教育」のすべて』による本質的な徳と『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3 データ分析順序の概略

ニューヨーク州立大学教授のトーマス・リコーナは道徳性発達心理学・道徳教育の分野で幅広く活動し、『リコーナ博士のこころの教育論』や『人格の教育』などの著作で知られている研究者である。リコーナの著作の中でも 2004 年に英語版が出版された『「人格教育」のすべて』は⁵、人格がなぜ重要なのかの説明に始まり、家庭・学校・地域の連携の中でどのように子供の人格を育成するのかについて具体例も示しながら、総合的かつ詳細に記した教育指南書である。同著第 11 章「人格を育成する学校をつくる」では、人に本質的であると判断される（従って特定の文化によって左右されることのないと考えられる）10 の徳が列挙されており、それぞれを補足する徳も付記されている。リコーナが示す本質的な徳とは以下のとおりである⁶。

(1)智恵	・善き判断力(賢明な判断をする能力) ・徳を実践するための知識
-------	---------------------------------

Wisdom	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 人生における重要度の識別能力(優先順位をつける能力) ▪ Good judgment; ability to make reasoned decisions ▪ Knowing how to put the virtues into practice ▪ Discerning what's important in life; ability to set priorities
(2)正義 Justice	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 公正(黄金律に則ったもの) ▪ 他者の尊重 ▪ 自己の尊重 ▪ 責任 ▪ 正直 ▪ 礼節／礼儀 ▪ 寛容(合法的な行為や良心的な自由に対する尊重) ▪ Fairness (following the Golden Rule) ▪ Respect for others ▪ Self-respect ▪ Responsibility ▪ Honesty ▪ Courtesy / civility ▪ Tolerance (respect for freedom of conscience, legitimately exercised)
(3)不屈の精 神 Fortitude	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 勇氣 ▪ 回復力 ▪ 根気 ▪ 我慢強さ ▪ 忍耐 ▪ 自信 ▪ Courage ▪ Resilience ▪ Patience ▪ Perseverance ▪ Endurance ▪ Self-confidence
(4)自己統御 Self-Control	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自制 ▪ 情動や衝動をコントロールする能力 ▪ 欲求に耐える能力 ▪ 誘惑に抵抗する能力 ▪ 平穩 ▪ 性的な欲求をコントロールする能力 ▪ Self-discipline ▪ Ability to manager one's emotions and impulses ▪ Ability to delay gratification ▪ Moderation ▪ Sexual self-control
(5)愛情 Love	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 共感 ▪ 同情 ▪ 親切さ ▪ 寛容 ▪ 奉仕 ▪ 忠誠 ▪ 愛国心(自国における高貴な精神への愛) ▪ ゆるし ▪ Empathy ▪ Compassion ▪ Kindness ▪ Generosity ▪ Service ▪ Loyalty ▪ Patriotism (love of what is noble in one's country) ▪ Forgiveness

(6)肯定的な 態度 Positive Attitude	希望・情熱・柔軟さ・ユーモアの精神 ▪Hope ▪Enthusiasm ▪Flexibility ▪Sense of Humor
(7)勤勉さ Hard Work	▪率先 ▪努力 ▪目標の設定 ▪豊かな機知 ▪Initiative ▪Diligence ▪Goal Setting ▪Resourcefulness
(8)誠実さ Integrity	▪道徳原則の遵守 ▪正しく形成された良心 ▪約束の遵守 ▪倫理的な一貫性 ▪自分に正直であること ▪Adhering to moral principle ▪Faithfulness to a correctly formed conscience ▪Keeping one's word ▪Ethical consistency ▪Being honest with oneself
(9)感謝の心 Gratitude	▪感謝する習慣(恩恵に感謝する心) ▪他者への感謝 ▪不平不満の抑制 ▪The habit of being thankful; appreciating one's blessings ▪Acknowledging one's debt to others ▪Not complaining
(10)謙虚さ Humility	▪自己認識 ▪過ちを認め、それを正す責任感 ▪より良い人物になるという希望 ▪Self-awareness ▪Willingness to admit mistakes and take responsibility for correcting them ▪The desire to become a better person

表

全ての文化・時代に通用する絶対的真理とも言うべき徳性のセットを現在もそして今後も人間が把握し切れるものかどうかは断言できないし、この不確実性が

実際の徳育の場では負の要因になる場合もあるのであるが、本稿では研究の足がかりとしてリコーナが示したこれら本質的な徳の補足的徳をコードとして採用し、『TOEIC®テスト新公式問題集』の Part3（会話素材）を分析することとした。リコーナが人格教育の第一人者であること、特定文化に限定されない本質的徳のセットを見極めようとする彼の努力の中でこの徳性の一覧が出来上がってきたことがその理由である。

実際の分析にはMAXQDAplus Single-User License Educational というソフトウェアを使用し、Volume1 から4 までの『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3（会話素材）の英文にどのような徳が見られるかを検討した。例えば Volume1 Part3 Questions 53 – 55 は、Yoon Corporation との契約が成立したので忙しくなると男性社員が述べたところ、同僚の女性社員がそれに対して解雇が多い昨今契約がもたらしたことを喜ばなくてとは答えているが、このような女性社員のセリフに見られる徳は上記に示した補足的徳のうち<不平不満の抑制>に当てはまると考えられる、の如くである。他の箇所についても同様に、Volume1 から4 の Part3 の各素材中どのセリフにいかなる徳性が見られるかを一つ一つ確認した。

本稿執筆者は加藤知子と神野真寿美の両名であるが、英語素材分析はまず両者別々に行い、その後二種類の分析結果を突き合わせながら分析基準が各人の主観に陥りすぎていないかを確認した。基準が分かれた箇所についてはなぜ異なる判断を下したのかを明確にすると共に、両者が歩み寄れる所は歩み寄りの軌跡を記しつつ、加藤・神野両者が同一の結論に落ち着くよう試みた。歩み寄りの作業については研究ノートという本稿のページ数の制約のため詳細に記すことはできないが、必要な箇所については第二章で分析結果を、また第三章で今後の課題に言及する際に示したい。

なお英語素材の傾向を分析するにあたり、特定の語彙の頻度を以てその特徴を探る方法がしばしば取られるが、本稿では各素材中どのセリフにどのような徳性が見られるのかを手作業で確認する方法を採用した。その理由は、『TOEIC®テ

スト新公式問題集』Part3では語彙のレベルでは明らかに徳性を表すと思われるものがほとんど見られないからである。例えば前出のVolume 1 Part3 Questions 53 – 55では女性社員のセリフに<不平不満の抑制>という徳が見られるが、英語素材に Not complaining などの表現が含まれているわけではない。女性は You should be happy to get the contract. と述べているだけで、単語一つ一つを見れば、特に<徳性>の鍵となるものは含まれていない。しかしながら英語素材の文脈の中でこの文を見れば、不平不満を言うことはないでしょうというメッセージを女性社員は発していることがわかる。

MAXQDaplus Single-User License Educational のアドイン機能を用いると英語素材語彙頻度を調べることができる。Volume 1 から 4 までの『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3 英語素材に含まれる語彙の中で、<徳性>を敢えて読みとろうとすれば不可能ではないものは上位より順に should (出現率 0.37%)、work (同 0.26%)、help (同 0.23%) などがあるが、これらも文脈を外れては徳性を表しているか否か如何様にも解釈が可能である。所謂基本語彙のみで構成されている文であっても文脈の中では徳性に溢れていると判断可能な素材が同問題集には多く、文脈なしの語彙だけでは<徳性>が『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3に見られるか否かを見極めることは困難であると判断し、本稿では単語や文節に分割せず文書を最小限のセグメントとして扱う質的データ分析の手法を採用することとした。

2. 『TOEIC®テスト新公式問題集』Part3の素材分析に見られる徳

第一章で示したとおり『「人格教育」のすべて』第11章「人格を育成する学校をつくる」掲載の、人に本質的であると判断される徳をコードとして用いながら『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume 1 から 4 までのPart3 会話素材合計 80 を分析した。本章では、会話素材毎の傾向を 2. 1 で、徳性毎の傾向を 2. 2 でそれぞれまとめたものを記す 8。なお、一つの徳性が認められれば、それはその人物に<徳を実践するための知識>や<善き判断力>、<正しく形成された良心

>、<道德原則の遵守>の心が備わっていることの現れでもあると判断し、徳性コードが一つ素材に貼りつけられれば、これら四つのコードも貼りつけることとした。

2. 1 設問用文書毎の傾向

2. 1. 1 多種のコードが割り振られたもの

徳のコードが割り振られなかったものは少数であり、ほとんどの英語素材に少なくとも何らかの徳が見られる。その中で、英語素材全体に亘って多種の徳性コードが割り振られたものの典型例は『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume4、Test1、Part3、Questions 68–70 である（以下 Volume・Test・Part・Question 番号のみ記載）。同素材は、床用タイルの新しいデザインを懸念になって手がけたトムという男性職員の働きを讃え、昇進という形で報いるというものである。昇進のおかげで給与は上昇するものの、責任もそれに伴い増加するのであるが、トムはその申し出に肯定的な態度で対応している。この素材には、<徳を实践するための知識>、<善き判断力>、<正しく形成された良心>、<道德原則の遵守>の徳性の他に、<根気>、<忍耐>、<我慢強さ>、<努力>、<約束の遵守>、<豊かな機知>、<他者への感謝>、<感謝する習慣>、<他人への尊重>、<公正>、<礼節・礼儀>、<自分に正直であること>、<勇気>、<希望>、<自信>などが見られる。会話はトムの今後の活躍が期待される結末となっており、素材の最初から最後まで徳性に溢れている典型例であろう。

同様に多種の徳性が現れているものは Volume1、Test1、Part3、Questions 50–52 が挙げられよう。この素材では、Annabelle Futuro という客が旅行代理店に電話をかけ、自分の航空券がまだ届いていない旨告げている。代理店がミス犯したのはこれが二度目であるが、Futuro は怒りをぶちまける代わりに順序立てて経緯を説明している。Futuro に元々対応したのは Peter と Indira であり、二人とも電話がかかってきた時点では不在なのであるが、二人に代わって対応する代理店職員は自分が犯したミスでもないのに問題解決に向けてベストを尽く

している。同素材に見られる徳性は、〈情動や衝動をコントロールする能力〉、〈自制〉、〈礼節・礼儀〉、〈他者の尊重〉、〈過ちを認めそれを正す責任感〉、〈努力〉、〈責任〉、〈柔軟さ〉、〈豊かな機知〉などである。これらに加えて〈徳を实践するための知識〉、〈善き判断力〉、〈正しく形成された良心〉、〈道徳原則の遵守〉も同素材には認めることができよう。Futuro の仕事に間に合うよう航空券は届けられることになり、この会話も肯定的な終わり方をしている。その他多種の徳性が見られるものは以下のとおりである。

Volume1、Test1、Part3

Questions 53 - 55 会議のため昼食を共にできなかったことを謝罪し、新しい契約に対する希望を語り合う会話

Questions 56 - 58 Martha Benjamin と彼女のレポートを査読する Jeffrey Hines との会話

Questions 68 - 70 新しいロゴ作成にかける情熱と自社に対する誇りが語られる会話

Volume1、Test2、Part3

Questions 41 - 43 自分の能力がより発揮できる学校へと転職を決意する女性との会話

Questions 53 - 55 顧客に出来たての食事を食べてもらうためには宅配を厭わない従業員との会話

Questions 62 - 64 選手が足りないという友人のために運動は苦手だがバレーボールチームに参加協力する男性との会話

Volume2、Test1、Part3

Questions 44 - 46 退職する Jim Smith のためのパーティ準備に関する会話

Questions 56 - 58 新しいオフィスを探す男性と情報提供する女性との会話

Questions 68 - 70 多忙ながら自分のできること・できないことを見極めながら仕事をこなす Sarah との会話

Volume2、Test2、Part3

Questions 41 - 43 コンピュータのトラブルのため予約にエラーが出た宿泊客の Mr. Singh に丁寧に対応するホテル従業員との会話

Questions 50 - 52 愛情の印として Donna Goodrich に送られた薔薇の花束を巡る会話

Questions 56 - 58 新しいプリンタ開発に向けての会話

Questions 68 - 70 学生ローンを借りて学ぼうとする学生

Volume3、Test1、Part3

Questions 44 - 46 家具見本市に行ってきた男性との会話

Questions 53 - 55 あくまでも長方形のテーブルにこだわろうとする客とその希望に応えようと努力する店員との会話

Questions 62 - 64 スケジュール変更に対応する Mr. Wellington との会話

Questions 68 - 70 電子タイムカード使用法がわからない女性に親切に使用法を教える Brett との会話

Volume3、Test2、Part3

Questions 56 - 58 City University の授業料を会社が負担するシステムを積極的に活用しようとする同僚との会話

Questions 59 - 61 新パンフレット作成の意気込みを語る女性と慎重な男性との会話

Questions 65 - 67 Frank Griffin に仕事の進捗状況を尋ねるよう依頼された女性がてきぱきと対応する会話

Questions 68 - 70 乾燥した気候に拘わらずトマト栽培に努力する男性との会話

Volume4、Test1、Part3

Questions 44 - 46 医院での予約よりも重要な顧客との会議を優先させようとする Mr. Armstrong と彼に丁寧に対応する医院受付の女性との会話

Questions 53・55 記事中の住所が誤りであるとの Francine Louis からの電話に誠実に対応している男性との会話

Questions 59・61 急な注文にも迅速に対応するケイタリング店

Volume4、Test2、Part3

Questions 47・49 希望図書の在庫が書店にないにも拘わらず自制心を保つ男子学生と書籍取り寄せを速やかに行おうとする店員との会話

Questions 56・58 Mr. Paulson から送られてきた電子メールを男性の同僚に転送し、また励ます女性との会話

Questions 59・61 学会の講演やイベントについて情熱的に語り合う男女同僚

Questions 65・67 ミスを発見して会社を救った Ayesha Patel の働きを讃える同僚との会話

大凡多種のコードが割り振られた会話は英語素材全体的に徳性が感じられるものであるが、徳性が感じられるセリフとそうではないセリフが混在している会話も若干ある。Volume1、Test2、Part3、Questions 62－64 ならびに Volume3、Test2、Part3、Questions 68－70 がそれである。これらについては後述する。

2. 1. 2少数の種類徳性コードが会話全体をカバーしているもの

割り振られた徳のコードの種類が少ないものであっても、全体をその徳性がカバーしているため、全体として徳性が感じられる会話となっているものもある。例えば Volume2、Test2、Part3、Questions 62－64 は、ビジネスパートナーの男女が視察した物件を借りるかどうかについて率直に意見を交わしており、ここに見られる徳性は、〈徳を实践するための知識〉や〈善き判断力〉、〈正しく形成された良心〉、〈道徳原則の遵守〉の他に〈自分に正直であること〉が挙げられよう。物件の広さは彼らにとって **perfect** であり、借りる方向で検討してみようというセリフ等から肯定的な態度が示されるが（広さの適当さが他の短所を相

殺してくれるだろうからということなのであろう)、リコーナが<肯定的な態度>という本質的な徳の下位項目として示した<情熱>、<柔軟さ>、<ユーモア
の精神>等の補足的な徳は定性コードとしてはしっかりこないようである。敢えて割り振ろうとすれば<希望>であろうか。いずれにせよ割り振ることのできる徳性の種類は少なくとも、男女二人が冷静にしかし率直に物件の長所・短所を検討しているため、素材全体に<自分に正直であること>という徳が貫かれた会話となっている¹⁰。

またVolume4、Test1、Part3、Questions 50 – 52では、男性が同僚のAndreaにコピー用紙のありかを尋ねている。午後の会議に必要な議題書をコピーしなければならないが用紙がなくなったのである。切羽詰まった状況にありながらも男性もアンドレアも冷静に対応しようとしている。当てはまる徳性は<徳を实践するための知識>や<善き判断力>、<正しく形成された良心>、<道德原則の遵守>の他に<平穩>や<自制>が挙げられよう。後者二つの徳性が会話の最初から最後まで見られるので、全体として徳性の高さが読み取れる会話となっている。似たような会話はVolume3、Test1、Part3、Questions 50 – 52であり、こちらもコピー用紙がなくなったのでどうしようかというものである。この会話では男性が気をきかせて予め用紙を余分に購入していた設定になっているので、徳としては<自制>の代わりに<率先>を割り振ることができるだろう。

その他、徳性コードの種類は少ないけれども、素材全体として徳性が貫かれていると判断できるものは以下のとおりである。なお、ここで示された徳性の他に、分析段階ではいずれも<徳を实践するための知識>、<善き判断力>、<正しく形成された良心>、<道德原則の遵守>も徳性コードとして各素材に割り振ってある。

Volume1、Test1、Part3

Questions 62・64 お互いに譲り合ってスケジュールを変更しようとする男女の同僚二人の会話で、<他者への尊重>や<柔軟さ>の徳が見られる

Volume2、Test1、Part3

Questions 41 - 43 携帯電話を無くした宿泊客と、誠実に対応するホテル従業員との会話で、〈礼儀・礼節〉、〈自制〉あるいは〈平穩〉、〈努力〉の徳が見られる

Questions 50 - 52 期限が迫る中、機械は故障している中でパニックにならずに解決策を探っている同僚同士の会話で、〈約束の遵守〉、〈自制〉、〈柔軟さ〉の徳が見られる

Questions 65 - 67 スペースの狭い他の研究室を使わなくてはならなくなったが、仕事を間に合わせることを優先させる同僚との会話で、〈不平不満の抑制〉、〈機知〉、〈自制〉、〈努力〉の徳が見られる

Volume2、Test 2、Part 3

Questions 53 - 55 IT講習会参加の女性と彼女の質問に答える男性との会話で、〈礼儀・礼節〉、〈希望〉の徳が見られる

Volume3、Test1、Part3

Questions 41 - 43 同僚のJoe Cooperテレビ出演を喜ぶ会話で〈共感〉の徳が見られる

Questions 47 - 49 マネージャーの職に応募するようDavidを励ます女性との会話で、Davidには〈自己認識〉、女性には〈親切さ〉の徳が見られる

Questions 56 - 58 口座を開きにClarke National Bankに来た男性と銀行員との会話で、〈礼節・礼儀〉、〈公正〉の徳が見られる

Volume3、Test2、Part3

Questions 41 - 43 Yumiko Nelsonと話したいMatthew BurnsとNelsonの秘書であるJeanie Robertsとの会話で、〈礼節・礼儀〉、〈他者への感謝〉の徳が見られる

Questions 50 - 52 美術館での展示に対する感動を分かち合う男女二人の会話で、〈共感〉の徳が見られる

Volume4、Test2、Part3

Questions 44 - 46 MikeのChicago栄転に関する会話で、＜共感＞や＜責任感＞の徳が見られる

Questions 53 - 55 新たに上映時間が加わったことを告げるthe Fairview Theaterの職員と観客との会話で、＜礼儀・礼節＞、＜努力＞の徳が見られる

Questions 68 - 70 ソファを追加注文したいMonroe Street storeのEun-Hee Parkと取引先のDerekとの会話で、＜礼儀・礼節＞、＜努力＞、＜柔軟さ＞の徳が見られる

2. 1. 3セリフを個々に見た場合そこに徳性コードを貼りつけることが可能なもの

素材全体としては終始徳に溢れているとは言えず、全体的には否定的な雰囲気さえ感じ取られるけれども、それでも出現する徳がゼロではない素材も存在する。例えば Volume1、Test2、Part3 Questions 47 - 49 は、女性の顧客が Dave's Driveway Construction Company に電話をし、工事日程について確認している場面である。電話で対応している男性は工事は来月からと言い、女性に直接会って対応した工員は来週からと言い、工事会社内で見解が分かれている。もともと工事の詳細について顧客に説明しなかった責任は会社側にあり、不手際が暴かれたようで後味の悪い会話である。それでも冒頭男性社員の対応は丁寧なものであり、ここには＜礼儀・礼節＞という徳性が見られる。

また、Volume1、Test2、Part3、Questions 59 - 61は、フライトスケジュールの突然の変更により旅程の大幅遅延を強いられた男性に女性が話しかける会話である。男性はスケジュール変更についてはTerribleと言っており苛立ちを隠さない。フライトが遅れた原因はパイロットの飛行時間が限界を超えていることに直前まで気付かず、急遽パイロットを交代させることにした航空会社が手間取ったためであるが、男性の隣席にいたという女性は会社の不手際を忌憚なく批判し、自分がいかに不満であるかを会社に電話で伝えるという。怒りに満ちた会話

であり、読後感も良いとは言えない。しかしながら冒頭女性はひどい目に遭った男性に対し**Hey, you made it! How was your flight?**と話しかけており、男性を気遣う姿勢が見られる。また、顧客からの不満をとりあえず回避することに目を奪われ、仮にパイロットを交代させずに予定通り出発した場合、パイロット疲労のため大事に至ったかもしれない。そこで顧客からの不満は覚悟の上で会社はパイロットを交代させた。その点は機転が効くとも言える。今後この航空会社はパイロットのスケジュール管理に気を配ることになる。

どちらかと言えば否定的なセリフの中に徳性が入り混じる形で現れるパターンが見られるのはこの他に、**Volume4, Test1, Part3, Questions 41 – 43**が挙げられる。電車がたまたま遅れたために乗りそこなうのを免れた男性教員との会話であるが、近くの乗客に対する**Excuse me**という呼びかけや、学生たちへの配慮が感じられるセリフなどには徳性が見られるが、他人（鉄道会社）のミスに助けられて始業に間に合うというのは教育者としては反省すべき点があるのではないだろうか。また、**Volume1, Test2, Part3, Questions 50 – 52**はロンドンでの会議に出席予定の同僚男女二人の会話であるが、女性は既に準備をしており男性にアドバイスもしているの、こちらは徳性の模範例となる一方、てきぱきと出張の準備をしていない男性の姿はやや熱心さに欠けると言えよう。おそらく男性もロンドンに宿を確保することができるだろうが、ホテルではなく義弟のフラットに居候となってしまうだろうと語らせるところで会話は終わる。

2. 1. 1 末で言及した**Volume1, Test2, Part3, Questions 62 – 64**や**Volume3, Test2, Part3, Questions 68 – 70**も、<徳性とそうではないものが混在する>という点では、**Volume4, Test1, Part3, Questions 41 – 43**や**Volume1, Test2, Part3, Questions 50 – 52**などに類するものであろう。**Volume1, Test2, Part3, Questions 62 – 64**では、女性は最初から自分たちのグループの益を考えて男性を誘っており、その自己中心的ともいえる動機が男性にわかってしまっても男性は女性たちに協力しようとしている。女性側にはやや利己的な側面がないわけではないだろうが、男性には困っている相手を助けようとする徳性が見える。最

後に女性からのお礼の一言が欲しいところではあるが、問題集の英語素材には見当たらない。Volume3、Test2、Part3、Questions 68 - 70では、早魃にも拘わらずトマト栽培を成功させた男性の努力には徳性が見られる一方、女性は早々とトマト価格を決定しようとしたたかきを見せている。それに対して男性は慎重な態度で臨んでおり、再び男性側に徳性が見られる構図となっている。女性のしたたかさは否定的なものとして描かれているため、したたかきは徳性からはずれるものであると読み取れる会話である。

また、会話の徳性が全体的に高いとも低いとも判断し辛い、そのニュートラルな会話の一部に、徳性コードを個々のセリフのレベルで貼りつけることができた一群の素材もある。例えばVolume1、Test1、Part3、Questions 65 - 67がある。同素材は、Devincenziという女性に男性が契約書とプロジェクトの条件について話をするという所謂普通のビジネス会話であり、とりたてて徳性に溢れているともそうでないとも判断できないが、あまり面識のないDevincenzi女史に対して男性は、Ms. Devincenziのように敬称 (Ms.) をつけて呼び掛けておりここには<礼節・礼儀>という徳が見られる。

この、会話全体の徳性のレベルは高いとも低いとも判断し辛い、個々のセリフのレベルでは徳性が発見されるというパターンのもはこの他に以下のとおりのものがあると判断した。

Volume1、Test1、Part3

Questions 41 - 43 The Walnut Treeという良レストランに関する会話

Questions 44 - 46 女性社員が男性社員にニュースレター作成手伝いを依頼する会話

Questions 59 - 61 急遽食堂での仕事を手伝うことになったMarie Rolandとの会話

Volume1、Test2、Part3

Questions 44 - 46 宿泊客のSusan Limと電話をつないで欲しい女性とホテ

ル従業員との会話

Questions 56・58 会議室予約を快く引き受ける女性社員との会話

Questions 65・67 新型フィルターの宣伝をするHelen Lunaとの会話

Questions 68・70 求人広告に関する会話

Volume2、Test1、Part3

Questions 47・49 Mara ClinicのDr. Gotoとの予約変更を希望する男性患者との会話¹

Questions 59・61 劇場チケット売り場での会話

Questions 62・62 年次報告を準備している同僚男女二人の会話

Volume2、Test2、Part3

Questions 44・46 Dr. Kimとの予約変更が叶わなかったことを説明する女性社員との会話²

Questions 47・49 Bermudaに出張する男性社員との会話³

Questions 65・67 薬局で薬をもらうAllan Leeと女性薬剤師との会話

Volume3、Test1、Part3

Questions 59・61 会議室変更に驚く女性社員との会話

Questions 65・67 図書館玄関のセキュリティシステム設置完了予定日に関する会話⁴

Volume3、Test2、Part3

Questions 44・46 コーヒーメーカーが欲しい男性客との会話⁵

Questions 47・49 新しいコンピュータソフトについて同僚のTimに助けを求める女性社員の会話

Questions 62・64 Marco's Shoesでの店員と客との会話

Volume4、Test1、Part3

Questions 47・49 大きいサイズのセーターに交換を希望する男性客との会話

Questions 56・58 営業課のレポート作成締め切りが迫っていることに関する

る会話

Questions 62・64 ローマでの学会の合間に観光を希望する女性との会話

Questions 65・67 Wendrell & Associatesでの会議出席予定の女性と警備員
と思われる男性との会話

Volume4、Test2、Part3

Questions 41・43 ホテルのロビー用カーペットを敷く時刻に関する会話

Questions 50・52 花屋での会話¹⁶

Questions 62・64 新美術館に関する記事を巡る会話

2. 1. 4 徳性コードがゼロであったもの

上節までに見たとおり、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume1 からVolume4 までのPart3 の英語素材では、多種の徳性が見られるものはもちろん、その他にも少数であれ、徳性を表すセリフとそうではないセリフとが混在して出現するものであれ、何らかの徳性が現れるものがほとんどであるのだが、徳性コードがゼロであると判断されたものがある。一つはVolume2、Test1、Part3、Questions 53-55 であり、「徳」は敢えて文面の背後まで立ち入って読み込まない限り表されていないと加藤・神野両名が判断した。特に徳性が見られないまれな例であろう。退職したFran の後継者は雇用されるのだろうか、人手不足であるので後継者が来なければ大変だという趣旨の会話である。ただし悪徳を感じさせるセリフは見られず、既に退職したFran や人手不足の中で働かなければならない職場に対して無礼な物言いもしていないという点で、消極的な意味では徳性があるとは言える。しかしながら不平不満の抑制と見られる明らかなセリフが使われているわけでもない。

また、Volume2、Test2、Part3、Questions 59-61 は、人事担当者同士の会話であり、面接した男性が履歴書の示すほど期待できる人物ではなく、基本的な質問に答えられないようでは会社に貢献できそうもないと感想を述べ合っている。これらの率直な意見から、<自分に正直であること>などの徳を当てはめよ

うとすればそれも可能かもしれないが、会話が否定的なセリフで占められているので、徳性を読み取りにくく、徳性のコードを貼りつけるか否か判断し辛いとも言える素材である。次節を先取りして述べるならば、この素材は一見反証事例のように思えるが、「基本的な問に答えられない」「我々のチームに貢献できない」男性を否定的に描くことにより、裏返しとして、チームに貢献することや基本的な知識を身につけていること、が肯定されることになっていると言えなくもない。

2. 1. 5 反証事例だと主張される可能性のある素材

以上、徳性のコードが多種貼りつけられたため（若干の例外を除き）明らかに徳性に溢れていると判断できるもの、貼りつけられたコードは多数ではないがそれら少数のコードが会話全体をカバーしているため会話の徳性が上がっているもの、会話全体は（徳性が高いか低いかわかりかねるものも含めて）徳性に溢れているとはいえないけれどもセリフを個々に見た場合そこに徳性コードを貼りつけることが可能なもの、徳性のコードがゼロであるもの、の四種類を見てきた。

素材の中に発見された徳性の数に拘わらず、『TOEIC®テスト新公式問題集』のPart3英語素材に徳性が見られるとの主張に対する一見反証事例とも見えるものが含まれている。このような素材は、2. 1. 4で触れたVolume2、Test2、Part3、Questions 59 – 61（面接した候補者ががっかりする男女二人）、そして2. 1. 3で言及したVolume1、Test2、Part3 Questions 47 – 49（工事日程に関する情報の齟齬）やVolume1、Test2、Part3、Questions 59 – 61（フライト変更に伴う大幅遅延）などがある。しかしながらこれらも悪徳と判断される会話ではなく、後者二素材に現れる徳性はゼロではない。またVolume2、Test2、Part3、Questions 59 – 61では基本的な問に答えられない候補者が批判され、Volume1、Test2、Part3、59 – 61では非難がパイロットのスケジュール管理を怠った航空会社に向けられているため、翻って各々勤勉さや計画性を重んじるといった徳が強調される会話となっていると言えなくもないだろう。2. 1. 4で挙げた徳性コードの張り付けがゼロであったVolume2、Test1、Part3、Questions 53 – 55

(退職したFranの後継者についての会話)の英語素材も反証事例の一種と主張されるかもしれないが、これも既述のとおり悪徳に満ちた会話でもなく、Franや会社側に対して明らかに無礼な物言いをしているわけでもない。

この他に一見反証事例に見られるが実は何らかの徳性と判断できるものが強調されているのではないかと論じることが可能な英語素材は、Volume1、Test1、Part3、Questions 47 – 49 であろう。これは夫婦が言い争う会話なのであるが、その原因は夫が従兄弟の結婚式を忘れたことである。ここで親族の絆は重要だという前提があってこそこの言い争いが成り立つのだと考えれば、家族愛の反面教師として夫が登場していると言えないこともないだろう。この後男性は野球観戦を断念し、親族との付き合いを優先させるかもしれない。また、この素材でも冒頭女性はパートナーに対して丁寧な頼み方をしており、徳性が全く現れないというわけでもない。

Volume3、Test2、Part3、Questions 53・55 は、Alex という男性に代わりに会議に出てくれないかと頼む女性に、Alex はその会議は長くなり、それに出席すると今自分が手がけている仕事ができなくなると答える。すると女性はそれなら自分の顧客訪問を変更して会議に出るわと言う。最初から変更できるならばそうすればよいのに、顧客に会うことを言い訳にして会議を休もうとしていたのか、とも読めてしまう。しかし男性は女性の言う通りにはならず慎重であり、また女性を反面教師と捉えるならば、この会話から「おサボりはだめ」、すなわち<誠実>であれというメッセージを読みとることも可能であろう。更に、Alex に会議出席を頼む際女性は丁寧に依頼をしている。

このように、反証事例と思われる素材も翻って徳性が表されていると読み込むことが可能であると論じることができ、そもそもそのような例が少数でもあるという点で、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume1 から Volume4 までの Part3 の会話は^{たいせい}大勢として徳性が見られる素材が使用されていると結論することができるのではないだろうか。

2. 1. 6 会話の結末

Volume1 から 4 までを通じて Part3 の文書の結末はほとんど肯定的である。典型例としては Volume1、Test1、Part3、Questions 62–64 が挙げられる。これは、男女二人の同僚が歩み寄って会議の日程を調整している会話であるが、この後理事会での報告を交えながらスタッフ皆で有意義な会議を持つことを予想させる仕上がりとなっている。また Volume1、Test2、Part3、Questions 53–55 は、オフィスでのパーティ用食事を顧客から依頼されてもいないのに進んで宅配しましょうと店側が申し出ている。食事は作りたてのほうがおいしいからというのがその理由であるが、この後オフィスパーティはおいしい食事のおかげで楽しいものとなるだろうと想像される。

読後の後味が悪いという点で少数派なのは次のとおりである。

Volume1、Test1、Part3

Questions 47 - 49 従兄弟の結婚式出席のために楽しみにしていた野球観戦を断念するであろう男性

Volume1、Test2、Part3

Questions 47 - 49 電話での対応と直接の対応とで話の内容に齟齬があり混乱が予想される Dave's Driveway Construction Company

Questions 59 - 61 不手際でフライトスケジュールが大幅に遅れたことに怒りが収まらない顧客からの苦情に対処しなければならないであろう航空会社

Volume2、Test1、Part3

Questions 53 - 55 Fran 退職後の人員配置が不明

Volume2、Test2、Part3

Questions 44 - 46 この後 Peterson 氏の誤解が解消されるかわからない

Questions 47 - 49 男性が Bermuda に充実した出張ができるかどうかかわからない

Questions 59 - 61 履歴書とは違い面接では基本的質問に答えられなかった

候補者と、彼にがっかりする面接担当者

Volume3、Test1、Part3

Questions 65 - 67 この後しばらくは図書館正面玄関の混雑が続くと思われる

Volume3、Test2、Part3

Questions 44 - 46 コーヒーメーカーの在り処は教えるが取り寄せてはくれない店員

Questions 53 - 55 スケジュール変更が可能であったにも拘わらず、男性社員に代わりに会議に出てもらおうと依頼した女性

Questions 68 - 70 トマトの価格を早々と決めようとしたたかな女性の言いなりにはならないとの姿勢を男性が見せたところで会話が終わる

Volume4、Test1、Part3

Questions 50 - 52 紙を探せるかどうかわからない。最後のセリフがあまり肯定的ではない

Volume4、Test2、Part3

Questions 50 - 52 余計に送料がかかることがわかるところで会話が終わり、後味が悪い

Volume3、Test2、Part3、Questions 44 - 46 は広告で見たコーヒーメーカーが欲しいという客とそれに対応する店員との会話で、探しものをしている人物を助ける会話は『TOEIC®テスト新公式問題集』では繰り返し現れているためその典型例と言えなくもないが、店員は最後は、他の支店に在庫があるのでそちらに行ってみてはいかがですかと伝えるだけで、率先して取り寄せて差し上げましょうかとは述べていないため、この後客は自分でその支店まで赴く労を取らなければならない。『TOEIC®テスト新公式問題集』に見られる、探しものをしている人物を助ける会話は、探しているものは携帯電話 (Volume2、Test1、Part3、Questions 41 - 43)、部屋 (Volume2、Test2、Part3、Questions 41 - 43)、ロー

ンに関する情報 (同 68・70)、セーター (Volume4、Test1、Part3、Questions 47・49)、紙 (同 50-52) あるいは人 (Volume1、Test2、Part3、Questions 44・46) など多岐に亘るけれども、これらはいずれも探しものが見つからなくても、助ける側はベストを尽くす流れとなっている。これらと比べると、店員は客に対して sir と丁寧に呼びかけている一方で、自分で支店まで行くよう伝えている Volume3、Test2、Part3、Questions 44・46 は特異なものと言えるかもしれない。

肯定的結末とは言えないこれらの素材が存在するにも拘わらず、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume1から4のPart3素材を全体的に見るとほとんどは会話の登場人物にはより良い方向に向かおうとする姿勢が見られ、読後は肯定的展開が期待されるものとなっている。肯定的態度というのは徳性の一種であるから、このように読後の肯定的展開を期待させる肯定的結末の素材が多いことが、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume1からVolume4までのPart3の会話素材の徳性的雰囲気をも強める効果があるのではないかと主張できよう。

2. 2 徳性毎の分析

2. 2. 1 『TOEIC®テスト新公式問題集』Volumes 1-4、Part3に見られた徳性

今回分析を行った同問題集 Volumes 1-4 の Part3 の素材によく見られた徳性のうち上位に上がったのは<善き判断力>、<徳を实践するための知識>、<道徳原則の遵守>、<正しく形成された良心>であり、これらは徳性が一つでも見られれば自動的に貼りつけるという取り決めの上分析をしたため当然の結果ではあるのだが、頻度の極めて高いものはこれらの他に、<礼節・礼儀>、<他人の尊重>、<努力>が挙げられる。

例えば Volume1、Test1、Part3、Questions 50 - 52 では、旅行代理店の男性が顧客の女性に対して Thank you for calling. と言い、また、Ms. Futuro と敬称を用いて呼び掛けている。男性は代理店側のミスを率直に認め遺憾の念を伝え

ている。一方客側の **Futuro** は代理店の度重なるミスにも拘わらず一貫して淡々と経緯を述べている。ここには<礼儀・礼節>、<他者への尊重>が見られると言えよう。また同素材中、男性社員は自分の犯したミスではないのに顧客のためにベストを尽くしている。彼の態度には<努力>という徳性が見られる。

上司や顧客、あるいはあまり面識のない者に対して **Ms.** や **Mr.** あるいは **Dr.** などの敬称を用いて呼び掛けたり言及したりするのは、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volumes 1・4のPart3では、ほぼ一貫して見られる傾向である。また、Volume2、Test1、Part3、Questions 41-43では、ホテルの従業員が客に対して、同47-49では医院の受付女性が患者に対して、Volume3、Test2、Part3、Questions 44-46では店員が客に対してそれぞれ **sir** と呼び掛けている。一方Volume4、Test1、Part3、Questions 65-70では警備員と思われる男性が女性に対して **ma'am** と呼び掛けている。

敬称を用いないで呼び掛けている場合は同僚あるいは友人・配偶者同士の会話である。例えば、Volume4、Test2、Part3、Questions 65-67は、誰も気付かなかったミスを見つけてくれた **Ayesha** を社内の表彰者に推薦しようとする女性社員が **Sam** という社員に話し、**Sam** が推薦手続きについて説明しているという会話である。**Ayesha** や **Sam** の前には敬称が付けられていないが、会話の内容から判断するに、女性から見れば彼らは上司ではないからであろう。なおこの会話は、<努力>、<共感>、<感謝する習慣>、<公正さ>、<責任>などの多量の徳性が見られる例として2. 1. 1でも言及した。社内表彰制度を設けることにより社内で社員同士がお互いを切磋琢磨することにもなるし、お互いを尊重し合う雰囲気を作ることも可能となるというビジネスの現実が盛り込まれた英語素材の例である。

敬称を付けるか付けないかの基準に対する例外はVolume1、Test2、Part3、Questions 65-67であろう。これは **Magnum Heating Supplies** という会社の女性社員が顧客に電話をし、新製品へのアップグレードを勧めるというものであるが、女性社員は顧客であるはずの男性に対して **Juan** と呼び掛けている。もし

かしたら Juan は永らくの取引先の社員で馴染みがあるのかもしれないが、その点はこの会話からは読み取ることができない。

Volume4、Test2、Part3、Questions 65－67 で読み取ることができたと上記で指摘した＜共感＞も『TOEIC®テスト新公式問題集』の英語素材にかなりよく出現する特性である。＜共感＞は社内の協力体制を築き上げるのに不可欠な徳性とも言えるという点で同問題集英語素材作成に反映されているのであろうか。＜共感＞が典型的に現れている他の例は困っている女性に共感し親身に教える Brett が登場する Volume3、Test1、Part3、Questions 68－70 などが挙げられよう。

TOEIC®テストは元来英語を用いてビジネスに携わる者が受験することを想定として作られたものであり、『TOEIC®テスト新公式問題集』の英語素材もビジネスの場面を扱ったものが多い。＜礼節・礼儀＞、＜他者の尊重＞、＜努力＞、＜共感＞の各徳性が多く見られるのは、ビジネスの場において顧客優先の企業努力が求められるという現状や、会社内でお互いを尊重・共感し合える環境を整えることにより倫理の向上を図るという方針が企業で取り入れられている現実が、『TOEIC®テスト新公式問題集』の英語素材にも反映されていると推測できる。

これらの徳性以外に同問題集 Part3 によく現れた徳としては＜自分に正直であること＞（例 Volume3、Test1、Part3、Questions 47・49）、＜柔軟さ＞（例 Volume4、Test1、Part3、59・61）、＜率先＞（例 Volume2、Test2、Part3、Questions 56・58）、＜他者への感謝＞や＜感謝する習慣＞（例 Volume2、Test1、Part3、Questions 44・46）、＜希望＞（例 Volume4、Test2、Part3、Questions 59・61）、＜自制＞（例 Volume4、Test1、Part3、53・55）、＜約束の遵守＞（例 Volume4、Test2、Part3、Questions 44・46）、＜親切さ＞（例 Volume3、Test1、Part3、Questions 68・70）である。いずれも職場では欠かせない徳性である。

できることはできる・できないことはできないと率直に意見を述べなければかえってビジネスでは否定的な結末に陥ることもある一方、率先して仕事を担当しなければならぬ場合もあろう。また当初の計画どおりにならない時には柔軟に

対応することも必要である。更に仕事はチームで行うものなので自制が求められるし、同僚や顧客には感謝の気持ちや親切な心を持つことが重要である。加えて、仕事をやり遂げるためには希望を持って仕事に取り組むことが不可欠であろう。もちろんビジネスでは仕事を順調に進める上では約束の遵守が原則となるであろう。このようなビジネスの現実が同問題集の素材にも現れていると言えよう。

2. 2. 2 『TOEIC®テスト新公式問題集』 Volumes 1-4、Part 3に見られなかった徳性

一方、同問題集 Volumes 1-4 の Part 3 の素材に現れなかったと判断した徳性は<忠誠>、<愛国心>、<誘惑に抵抗する能力>、<性的な欲求をコントロールする能力>、<ユーモアの精神>、<回復力>である。特定の国でのビジネスを想定しない前提で TOEIC®テストが作成されているため、問題集の英語素材にも<愛国心>を織り込むことができないのであろう。しかしながら、会社を共同体であると考えるならば、愛社精神が感ぜられるものに<愛国心>のコードを仮に当て嵌める、あるいは、<愛国心>に代わり（リコーナの徳性一覧にはないけれども）<愛社精神>というコードを造りそれを割り振ることも分析作業上は可能かもしれない。また仕事にかける情熱を以て会社に忠誠を示していると解釈するならば、努力著しくプロ意識が感じられる会話には<忠誠>の徳が見られると判断できるかもしれない。

<誘惑に抵抗する能力>、<性的な欲求をコントロールする能力>に関しては、現実のビジネスの場では、前者に関しては企業秘密の暴露や不正取引、後者に関しては職場内での倫理に反した恋愛関係などがあり得ないわけではなく、それらに抗することがしばしば求められるであろう。しかしながら TOEIC®テスト受験生には未成年も含まれており、これらの徳性を盛り込みながら問題集の英語素材を作成することは困難なのではないかと想像される。

<ユーモアの精神>も実際のビジネスでは益となる徳性ではあるが、今回の分析では読み取れなかった。これもテストという文脈に馴染みにくい徳性であるか

らなのかもしれない。

<回復力>は<不屈の精神>という徳性の補助的徳性としてリコーナは列挙している。現実には数々の失敗から立ち直ることを要求されるビジネス界であるが、<回復力>という徳性が『TOEIC®テスト新公式問題集』各 Volume の Part3 に見られないのは、不屈の精神が求められるほどの回復力が必要とされるミスからの脱去物語を短い会話素材内で描けないからなのかもしれない。

3. 今後の課題

本稿では『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume 1 から 4 までの Part3 会話素材合計 80 を徳性の視点から分析した。今後、Part4、6、7 も『「人格教育」のすべて』による本質的な徳をコードとして用いながら分析する予定である。その後、異なる Part 間の比較、異なる Volume 間の比較を行う。おそらく各 Volume、各 Part 共に多くの英語素材には何らかの徳性が見られることが予想されるが、Volume 毎あるいは Part 毎に若干徳性の現れ方には強弱が見られるかもしれない。Part3、4、6、7 は素材として分量が十分あり、徳性の有無を判断するのが比較的容易である。しかしながら、Part2、5 も短い素材ながら徳性が見られる場合がある。これらをどう扱うかは今後の検討課題の一つと言えよう。

3. 1 『「人格教育」のすべて』掲載の徳の限界

『「人格教育」のすべて』第 11 章「人格を育成する学校をつくる」掲載の徳性をコードとして本稿筆者らが用いたのは、それらが人間に本質的な徳性であり、よって普遍性が高いものであると判断したからであるが、それでも今回『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume 1 から 4 までの Part3 会話素材を分析する中で、これらの徳性ではカバーしきれなかったものもあった。例えば Volume1、Test1、Part3、Questions 68–70 は、自社の新ロゴデザインが長い努力の未完成したことを同僚同士喜んでいる会話である。二人とも自社に誇りを持っており、愛社精神という徳性が見られると判断してもおかしくはないである

う。しかしながら、リコーナが示す本質的徳性の中で共同体に対する愛は愛国心しかなく、同英語素材に見られるような、個人でもなくさりとて国でもなくその中間に存在する、例えば会社という共同体に対する愛情に、どの徳性をコードとして割り当てるのか迷うところである。2. 2. 2で指摘したように今回の分析では<愛国心>という徳性は現れなかったと判断した。しかしながら、愛社精神などが見られる場合には<愛国心>というコードを仮に当てはめるとするならば、同徳性の出現回数は『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume 1 から4までのPart3 英語素材中ゼロではなくなる。

また同問題集会話素材分析を通じて日本の感覚とは異なる箇所が発見されたことも興味深い。例えばVolume1、Test2、Part3、Questions 41 – 43は男女の教員二人の会話であるが、女性教員は勤務先への忠誠よりは自分が教えたい学校への転勤を優先させている。自分に正直であることが『「人格教育」のすべて』では徳性の一つになっているので、この会話にもその徳性が現れていると判断したが、家族的経営が主流であった日本の伝統的な徳性に対する感覚とはややずれているとの印象を受けないでもない。日本であれば、自分の希望よりも勤務校への忠誠を優先させるのが美德であるとされるかもしれない。

一方で、仕事を優先できる場合は自分の希望よりもそちらを優先させている場面を扱った会話もある。Volume4、Test1、Part3、Questions 44 – 46がそれである。ここではMr. Armstrong という人物が、重要な顧客との会議に出席するため医者との予約を変更しようとしている。緊急的対応を要する事柄ではなく、また予約変更が可能な場合であれば、私事よりも仕事を優先するという点は愛社精神の尊ばれる伝統的日本文化にも合致するものかもしれない。

更に、応答の仕方において日本であったならば異なるセリフとするのにも思われる箇所もあった。例えばVolume1、Test2、Part3、Questions 44 – 46はSusan Lam という宿泊客の部屋に電話をつないで欲しいという客のセリフで始まっている。そのような宿泊客はいないと受付係が言うと、客はSusan Lam はSusan Lim の間違いであったことに気付く。間違えたのは客なのであるが英語のせりふ

には謝罪の言葉は入っていない。一方、同素材の日本語訳には「すみません」という言葉が入っている。また、Volume3、Test1、Part3、Questions 56–58は、Clarke National Bank に口座開設を希望する女性客と銀行窓口男性社員との会話である。口座を開いてくれると言うのであるから銀行員としては感謝のセリフが欲しいところではあるが、英語では **Excellent!** というセリフになっている。同素材の日本語訳ではこの箇所は「ありがとうございます」となっており、日本語と英語圏との感覚の違いを感じさせる。このような箇所を『TOEIC®テスト新公式問題集』全体から探し出し列挙することにより、同問題集英語素材の描く文化と日本との文化的差異を指摘してみるのも興味深い作業となるかもしれない。文化的な差異を見るために『「人格教育」のすべて』掲載の徳ではなく日本で整えられてきた徳性の一群を用いて質的分析をしてみるのも一案であろう。その際、明治期に出された教育勅語と第二次世界大戦終了直後に出された教育基本法で示された徳性群をコードとして用いながら分析してみると、分析対象が同じ英語素材であっても異なるパターンが見えてくるかもしれない¹⁷。

3. 2 分析判断基準の更なる検討

本稿 2. 1 では、徳が多種現れるものとそうではないものとの分類を試みたが、両者の間に引いた境界線は蓋然性を残すものであることにも触れておきたい。例えば Volume2、Test1、Part3、Questions 65–67 はスペースの狭い他の研究室を使わなくてはならなくなったが仕事を間に合わせることを優先させる同僚との会話で、2. 1. 2 では、徳性の数は少数であるが会話全体をそれらの徳がカバーしているものとして扱った。しかしながら本稿筆者らの判断したところ出現する徳性は合計 8 であった。暫定的に本稿では、出現する徳性が 10 であれば徳性が多種現れる英語素材であるとしたが、客観性を保ちつつ割り当てを行う努力を試みたとしても、どの徳をどのセリフに貼りつけるのかの絶対的な基準を設けることは困難であることに鑑みれば、分析者が異なれば各素材に割り当てられる徳性の数にも若干幅が出てくるのが想像される。徳性出現数 8 から 10 までの

差をどこまで有意であると認めるのか検討する必要がある。

これは、2. 2の徳性毎の出現傾向の分析に関しても同様の検討課題であり、今回は頻繁に出現したと判断する目安として徳性の出現回数上位 16 までを一区切りとしたが、〈約束の遵守〉に関しては本稿筆者間で判断にずれがあった。神野は上位であると判断したが加藤の順位では〈約束の遵守〉は 21 番目であった。しかしながら、加藤の順位表では上位 16 位の徳性が三つ同位で並び、次に 19 位が二つ、その後 21 位が同位で六つ並んでおり、その中に〈約束の遵守〉が含まれているのである。加藤の順位表でも〈約束の順位〉は必ずしも下位ではないのである。順位の付け方は中位に位置するものほどその順位からは蓋然性を拭い去ることは困難であるとし、また神野の順位表では上位にあることから、今回は〈約束の遵守〉も出現頻度が高い徳性の一つとした。

3. 3 徳育の現場での応用

本稿で扱った『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume 1 から 4 までの Part3 会話素材以外の Part を分析し、同問題集の徳性の傾向が明らかになった段階で、徳育という枠組みで『TOEIC®テスト公式問題集』を扱うことができるのか、扱うとすればどのように授業を組み立てればよいのか、他の授業との連携はどのようなのか、等の問いかけにも答えなければならないだろう。学校現場で徳育を行う際には徳が洩れなく扱うのが理想であろう。しかしながら、『「人格教育」のすべて』第 11 章「人格を育成する学校をつくる」掲載の徳が万全というわけでもなく、更に本稿第二章で指摘したように、Part3 会話素材では「人格を育成する学校をつくる」に掲載の徳さえも網羅されているわけではなかった。これは TOEIC®テストがビジネスシーンで必要とされる語学力を測るものであるという性格上、例えば〈性的な欲求をコントロールする能力〉を素材の中に織り込みにくいという事情もあるであろう。既に出版されている問題集に含まれる英語素材は増やすことはできないので、同問題集を徳育の一環として用いることとなれば、同問題集英語素材に現れない徳は、別途例えば他の授業との連携との中で扱

うこととなろう。徳は元来超科目的に教えられるべきものである点に鑑みれば、他科目との連携はむしろ奨励されるべきものであるかもしれない。

一方、TOEIC®テスト指導と徳育をむやみに混同するべきではないというもつともな指摘もあるだろう。テスト指導の中心的眼目はテスト指導であり、最終的目標はテストでの得点を上げることにある。しかしながら、得点を上げるために学業に励むその前提に〈努力〉や〈目標の設定〉などの徳性が必要であることに疑問を挿む者はいないであろう。また経営の現場で経営倫理の重要性が唱えられるのが現実であるとの認識に立つ時、徳育が個々の教育現場で扱われないことはかえって不自然なことと言わなければならないのではないだろうか。

『TOEIC®テスト新公式問題集』の英語素材そのものに徳が織り込まれているという事実が明らかになれば、問題集を授業中に扱う中でそのような徳に着目するよう学習者を促すことは可能であるし、また奨励されるべき性質のものであるのではないだろうか。

なお、非指示的教育・価値相対主義的教育を志向する立場を取る教育者らに対しては、特定の徳性に注意を促す教育方針の優位性を論じる必要があるが、この点については既に『「人格教育」のすべて』の中で言及されているので、そちらを参照されたい。

4. まとめ

本稿では、トーマス・リコーナ『「人格教育」のすべて』第11章「人格を育成する学校をつくる」掲載の本質的な徳を定性コードとして用い、『TOEIC®テスト新公式問題集』Volume1 から4までのPart3の会話素材を分析した。同素材分析に見られる徳の傾向を、設問用文書並びに徳性毎にまとめた。素材の多くは少なくとも何らかの徳性が見えるセリフを含んでおり、多種の徳性が盛り込まれた素材も数多く見られた。また会話は肯定的な結末で終わるものが多かった。反証事例と思われる素材も若干存在するが、それらについても読み込み方によれば徳性が読み取れるのではないかということ、徳性のコードを割り振り辛い素材

についても悪徳の会話ではないことを指摘した。最後に今後の課題を指摘した。

注

- ¹ ETS®サイトから配信されている TOEIC®テスト DATA&ANALYSIS によれば、2010 年度日本における受験者は公開テスト・IP テスト合計 1,780,000 人である。同データの所在は 2011 年 12 月 28 日現在、<http://www.toeic.or.jp/toeic/pdf/data/DAA2010.pdf> である。IP テスト受験者は 993,000 人であり、うち企業・団体職員の IP テスト受験者は 516,914 人となっている。
- ² 例えば Amazon.com.jp 上では TOEIC®テスト関連書籍は数多く販売されており、最近出版されたもので検索すると、文法・語彙の分野では塚田幸光・高橋基治・Nobu Yamada 著『TOEIC テスト 10秒ルール 文法・語彙』(2011 年) 学研教育出版、鈴木淳著『TOEIC テスト語彙&文法 一発快答!』(2010 年) コスモピア、など多数現れる。
- ³ 例えば写真や映像を分析する際に必要なメディア・リテラシーなどが挙げられよう。
- ⁴ Part3 の設問ための英語素材は 10、各 Volume には 2 つのテスト、Volume は合計 4 であるから $10 \times 2 \times 4 = 80$ となる。
- ⁵ 日本語版は水野修次郎・望月文明訳が 2005 年に麗澤大学出版会より出ている。
- ⁶ 『「人格教育」のすべて』 pp.322–325 から引用。英語は原著 *Character Matters* のペーパーバック版 pp.226–227 より引用。
- ⁷ 質的データ分析の分析対象が文書セグメントを最小単位として扱う点についての簡潔な説明は佐藤郁哉『質的データ分析法』 pp.57–58 を参照のこと。
- ⁸ これら会話の登場人物が心の底で何を考えているのかまで踏み込み議論するのは本稿の目的ではないため、本章でのまとめは文字化された素材から読み取れる限りでの解釈に限定することとする。
- ⁹ 徳性の種類が 10 以上となったものを列挙した。加藤と神野とで一致しなかった箇所は、その差が 2 以内であれば両者で話し合い、10 未満と判断した側が自分が気付かなかった徳性コードを貼りつけることで一致した。差が大きい場合は、「多種の徳性が見られる素材」例としては取り上げないこととした。
- ¹⁰ 率直に忌憚なく意見を交わすことにより、会話全体に慎重さが感じられる仕上がりとなっている。ただし「慎重さ」は、リコーナは徳のカテゴリーとしては挙げてはいない。類似のものでは「平穩」で

あろうか。

- 11 同素材では男性は **reschedule** のために電話をしていることから、以前に少なくとも一回は同院とコンタクトを取っているはずである。しかしながら、受付の女性は男性にこれまで本院で診察を受けたことがおありですかと尋ねている。これは通常ならば初めて電話予約を入れる時に尋ねるべき質問であろう。やや設定が不自然だと考えられなくもない素材ではある。
- 12, 13, 14, 15, 16 これらの会話は読後感がやや否定的であると言えなくもない。2. 1. 6で後述。
- 17 <http://www.toEIC.or.jp/30th/secrets/1.html> (2011年12月28日閲覧)によればTOEIC®テスト発案者は日本人の北岡靖男氏であるとのことであるから、同テストは案外日本人受験者にとっては倫理的には大きな壁が少ないのかもかもしれない。

参考文献

- Educational Testing Service 著・財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編 (2006) 『TOEIC®公式問題集 Volume1』(財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会。
- Educational Testing Service 著・財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編 (2007) 『TOEIC®公式問題集 Volume2』(財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会。
- Educational Testing Service 著・財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編 (2009) 『TOEIC®公式問題集 Volume3』(財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会。
- Educational Testing Service 著・財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編 (2011) 『TOEIC®公式問題集 Volume4』(財国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会。
- Lickona, Thomas (2004) *Character Matters*. [E.リコーナ『「人格教育」のすべて』水野修次郎・望月文明訳、麗澤大学出版会、2005年]。
- 佐藤郁哉 (2008) 『質的データ分析法 原理・方法・実践』新曜社。